大腸(下部)内視鏡検査を受けられる患者様へ

1、検査について	大腸の内壁の状態を、内視鏡(ファイバースコープ)を通じて観察し、組織診断・処置を行う検査です。
2、検査前(当日)の注意	①食事： 【検査3日前】海藻類(ひじき・わかめ・こんぶ・のり等)キノコ類・こんにゃく・線維の多い野菜は召し上がらないで下さい。 【検査前日】乳・乳製品は召し上がらないで下さい。 【検査当日】朝食は召し上がらないで下さい。但し水分(水・お茶)は飲んでも構いません。 ②内服薬： 朝の内服薬は主治医の指示に従って下さい。 ※妊娠の可能性のある方、心臓病・高血圧・糖尿病・脳梗塞で治療中の方は必ず主治医にご相談下さい。 ※ポリープ切除等の場合、切除後2週間は食事・運動・出張や旅行・飲酒の制限があります。事前にご予定の調整をお願いします。 ③病院への交通手段：検査時に鎮静剤を使用する場合があります。検査後には車・バイク・自転車の運転が出来ません。他の交通手段で御来院下さい。 ご年配の方や検査当日にふらつきのある方は、お付き添いの方と一緒に御来院下さい。 ④服装：ズボン・スカートはお腹周りが緩めのものをお履き物はヒールの低い靴を選択して下さい。まれに、トイレが間に合わない方がいらっしゃいます。ご心配な方は換えの下着や靴下、お着換え(ズボンやスカート)をご持参下さい。
3、検査前の準備	①受付終了後排尿を済ませてお待ち下さい。 ②腸管洗浄剤(下剤)を飲みます。 ・看護師が順番にお呼びし、下剤の飲み方を説明します。 ・午前中に下剤を飲み、午後から検査となりますので、他のご予定を入れずにお越し下さい。 ③検査の順番になりましたら検査着に着替えていただきます。 ※検査は排便状況異なります。受付順番ではありませんのでご了承下さい。
4、所要時間	①検査時間は約30分ですが、検査内容・処置内容により異なる場合があります。
5、検査方法	①検査をしやすいするため、腸の動きを一時的に抑える筋肉注射を、肩にすることがあります。 ②検査台に左側を下に横向きになっていただき、肛門に潤滑ゼリーを塗り、内視鏡を挿入していきます。 ③検査中何回か体の向きを変えていただくことがあります。 ④空気を少しずつ入れながら大腸全体を観察し、組織の採取や、処置・治療を行うことがあります。 ⑤観察が終わると内視鏡を抜き、検査は終了です。
6、検査後の注意	①注射の影響で目がちらちらしたり、のどが渇いたり、少しお腹が張ったりしますが次第に落ち着いてきます。 ②お腹が落ち着いてきましたら、少しずつ水分、食事を始めて下さい。特に食事内容に制限はありません。※但し、検査中に処置や治療を行った方は、約2週間食事・運動・出張や旅行・飲酒の制限が必要になる事があります。詳しくは検査終了後に看護師より説明があります。
7、その他	①検査結果が出るのは検査内容により日数が異なります。検査終了後検査室にてご確認下さい。 ②検査結果は外来診察を受け、主治医にお聞き下さい。
8、予約センター	他の患者様にも影響がありますので、原則予約の変更はしないようにお願いします。 電話番号：03-3353-8138 受付時間：月～金 9:00～16:30 土 9:00～12:30(第3土曜日は除く) 検査予約の変更は、次回の診察時に医師に相談していただく場合があります。

お問合せ先：東京女子医科大学病院 総合外来センター2階 内視鏡室

代表 03-3353-8111 内線番号：21243

改訂年月日：2024.10.21